

Clipchamp の使い方

Clipchamp は Windows11 に最初から付属している純正の動画編集アプリで、動画編集に慣れていない初心者でも短時間でやり方を覚えられる最もお勧めのアプリです。ここでは、Clipchamp を使って、自分が撮影した動画や写真などを使った動画編集のやり方をマスターしましょう。

1 動画編集に使う素材の準備

動画編集にとりかかる前に、まずは動画編集に使用する素材を準備します。自分がスマホやカメラなどで撮影した動画や写真を準備し、あらかじめ1つのフォルダーにまとめておきましょう。

(※ここでは、8個の動画と2枚の画像を1つのフォルダーにまとめてあります。)

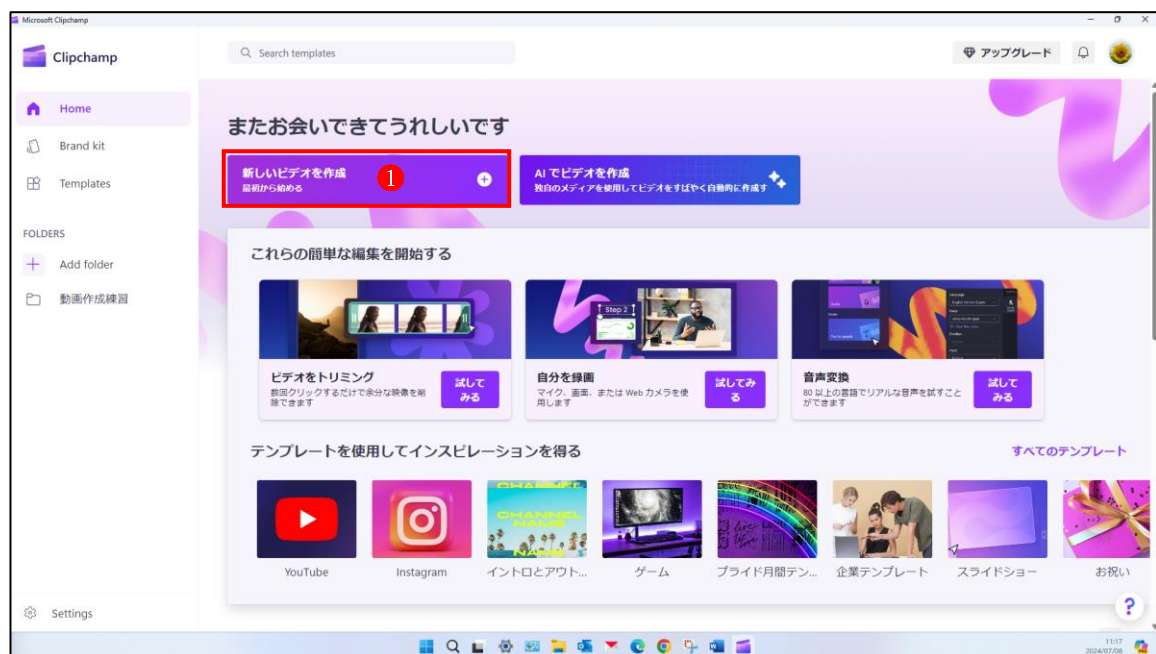
2 新しい動画の作成

(1) [Microsoft Clipchamp]の起動

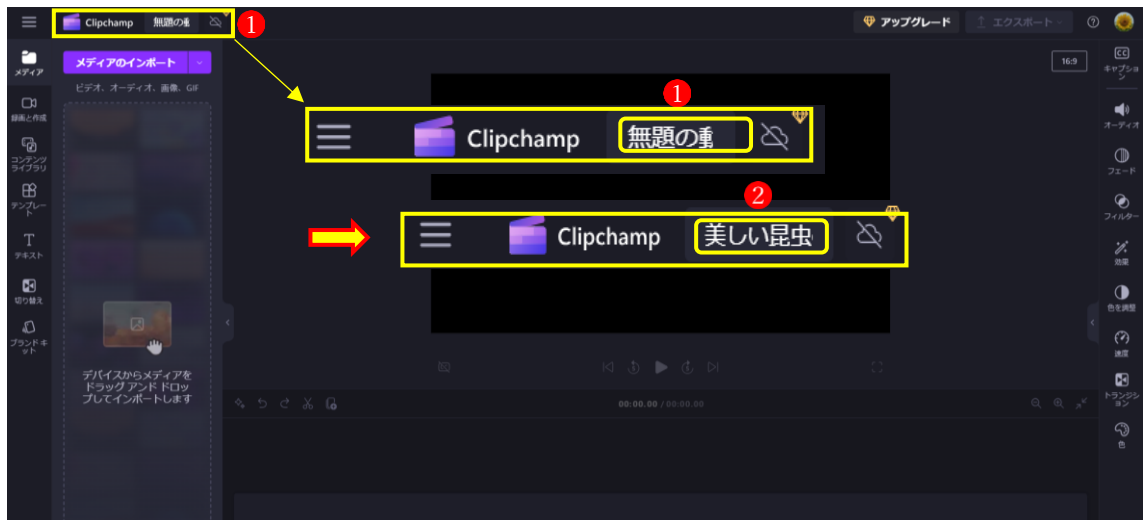
スタートボタンの「すべてのアプリ」から[Microsoft Clipchamp]をクリックして起動させます。なお、このアプリをよく使う場合には、スタート画面やタスクバーにピン留めしておくことで、すぐに起動することができるので便利です。

(2) 新規動画の作成

- ① ホーム画面が表示されます。初めて動画を作成する場合は、[新しいビデオを作成]①をクリックします。



- ② [無題の動画] ① という編集画面になります。ここで動画のタイトルを変えます。
 (※ここでは、タイトルを[美しい昆虫の世界] ② とします。)



(3) 動画の編集画面

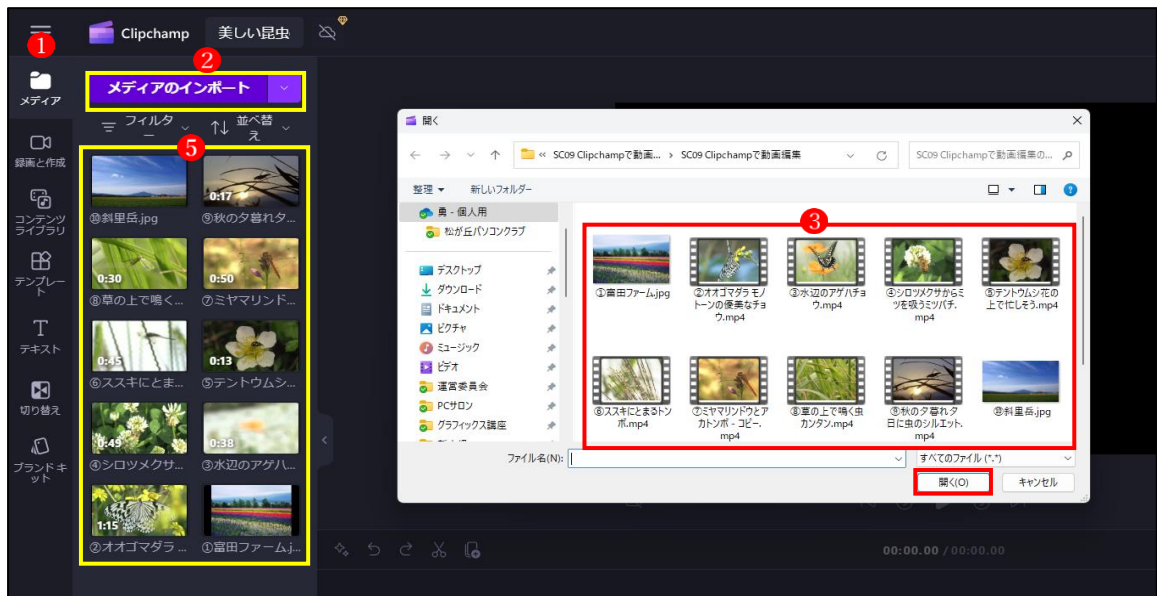
動画の編集画面は、次のように構成されています。



- ① 動画の編集画面は、左右に[ツールバー] ①があり、画面中央の操作画面の上部に[プレビュー画面] ②、下部に[タイムライン] ③があります。
- ② [メディア]ボタン ④をクリックしたときに開かれるオプションを[メディアライブラリー] ⑤といい、動画づくりに使う素材（動画や画像など）はここにインポートしておきます。
- ③ 動画作りに使う素材のことを[アセット]といい、アセットには、動画ファイル・画像ファイル・音声ファイル・テキスト・トランジションなど、いろいろなものがあります。
 なお、アセットの一つ一つを[クリップ]と呼びます。
- ④ 動画編集は、メディアライブラリーに読み込まれたクリップをタイムラインにコピーし、それをカットしたり組み合わせたりして、プレビュー画面で確認しながら行います。

(4) メディアのインポート

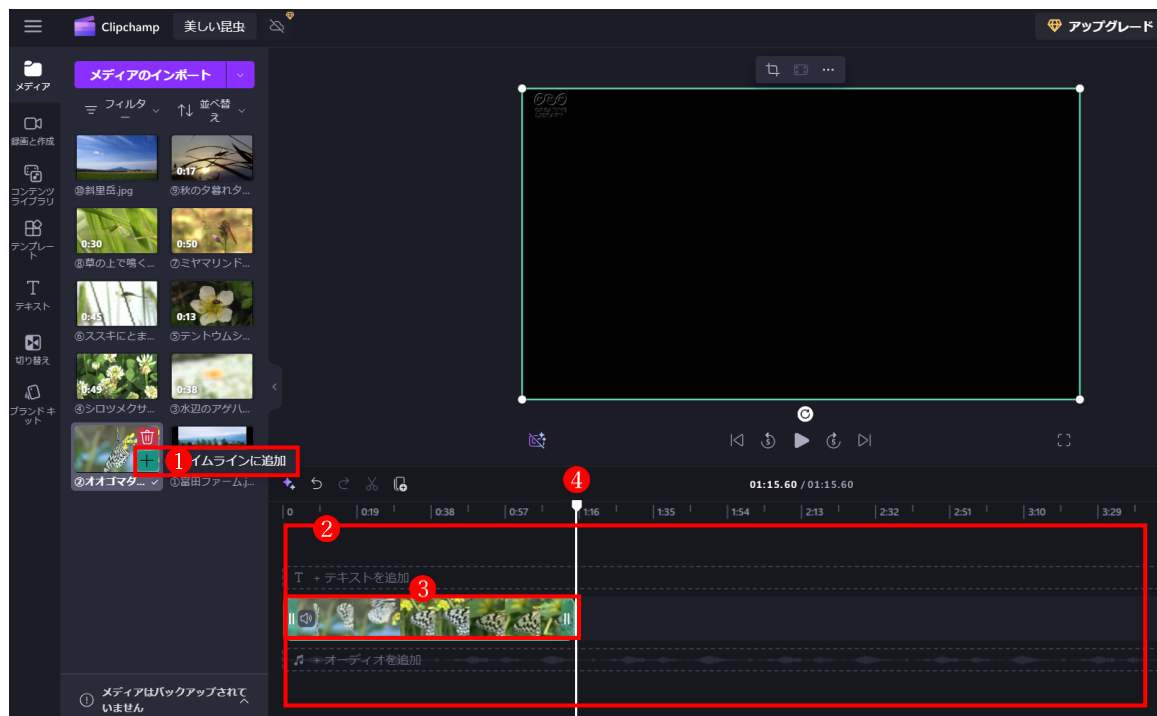
準備した素材（動画や写真）をメディアライブラリーにインポートします。



- ① ツールバーの[メディア]①をクリックし、次に[メディアのインポート]②をクリックします。
- ② 素材（動画や写真）が入っているフォルダーを開き、インポートする素材を選択（※ここでは8個の動画と2枚の画像③）し、[開く]ボタン④をクリックします。なお、インポートはファイルを直接ドラッグすることでもできます。
- ③ 8個の動画と2枚の画像が[メディアライブラリー]にインポートされます⑤。

(5) クリップをタイムラインに取り込む

動画の編集作業は、クリップをタイムラインへコピーして行います。



- ① メディアライブラリー上の取り込みたいクリップにマウスポインターを合わせると、**+**マーク①が現れます。
- ② **+**マークをクリックすると、クリップが[タイムライン]②にコピーされます③。
 なお、クリップを直接タイムラインにドラッグしてもコピーすることができます。
 ★ドラッグして追加するときは思ったところにコピーできますが、**+**ボタンをクリックしたときは[タイムラインカーソル]④の位置にコピーされます。

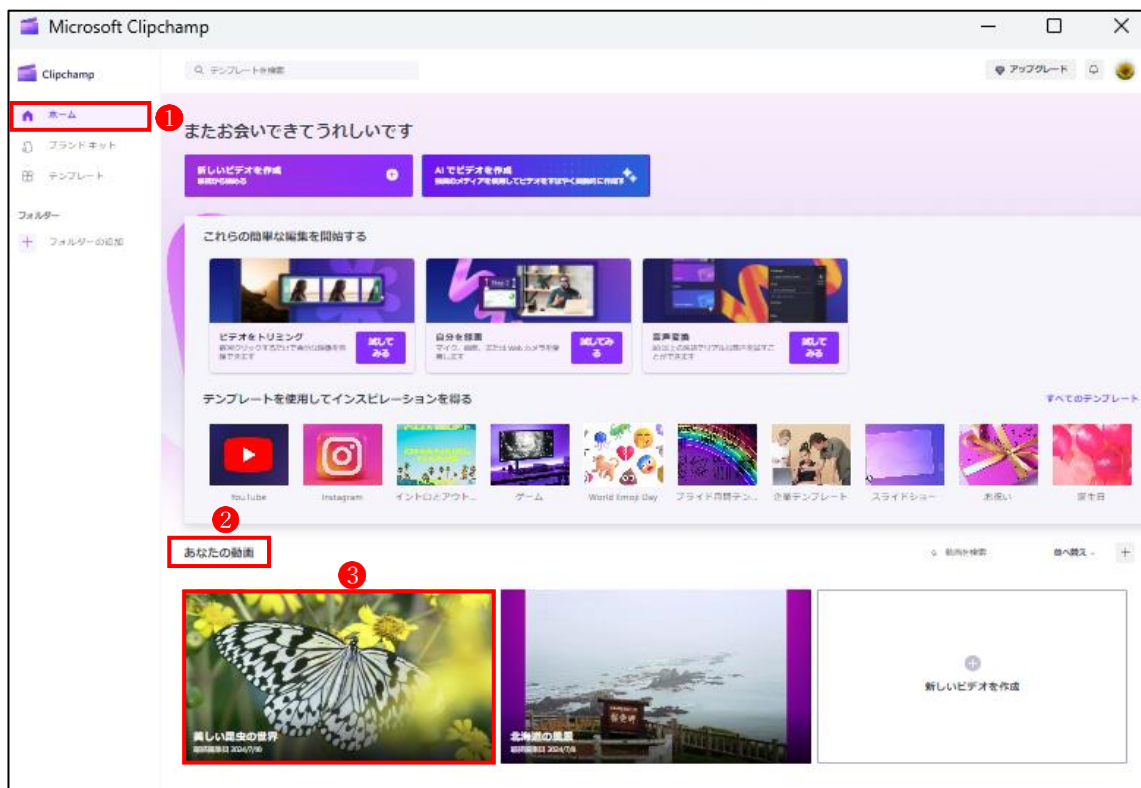
(6) プロジェクトの保存

Clipchamp では、動画の編集を途中で中断すると1つの[プロジェクト]としてクラウド上に自動的に保存されます。例えば Office アプリのように、[名前を付けて保存]や[保存]の操作を行う必要がありません。その代わりにパソコンがオンラインでクラウドにつながっていないと作業を続けられないので、覚えておきましょう。

3 プロジェクトの編集作業の再開

動画の編集を再開するには、まずはクラウドに保存されているプロジェクトを開く必要があります。

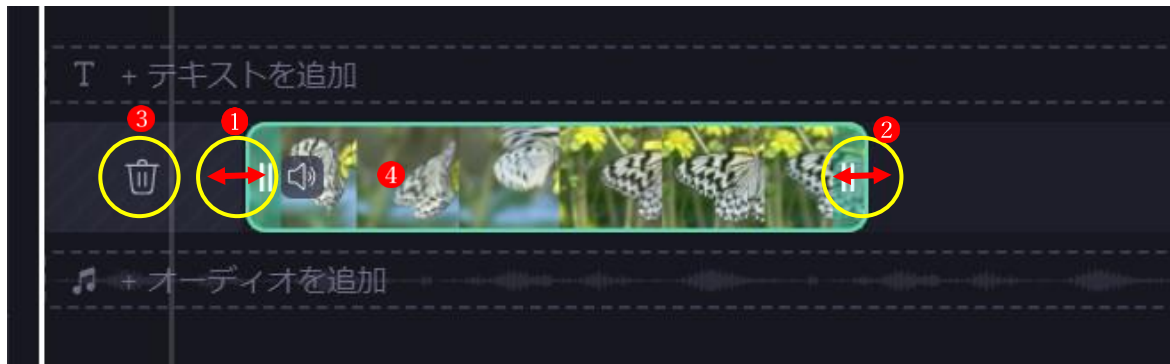
プロジェクトを開くには、Clipchamp を起動し、[ホーム画面]①を下の方にスクロールし、[あなたの動画]②に表示されているプロジェクトの中から編集を再開したいプロジェクト③をクリックして開きます。



4 編集作業その1 (コピーしたクリップの不要な部分をカットする)

(1) 動画クリップの前後の部分をカットする

動画クリップの前後の部分は unnecessary 部分が含まれていることが多いので、プレビュー画面で確認しながら unnecessary 部分をカットします。



- ① マウスポインターをクリップの先頭部分に合わせて、ポインターの形が[↔]①になったら右側にドラッグします。
- ② マウスポインターをクリップの最後の部分に合わせて、ポインターの形が[↔]②になったら左側にドラッグします。
- ③ カットされた部分は黒い空白になるので、マウスポインターを合わせると表示される[ゴミ箱]アイコン③をクリックします。これで、黒い空白部分が削除されて右側部分が左に寄せられます。なお、[ゴミ箱]アイコンをクリックする代わりに、カットされて残った部分④をドラッグして左に寄せることもできます。

(2) クリップの途中の部分をカットする

クリップの途中の部分をカットするときは、次のように操作します。



- ① タイムラインカーソルをクリップの削除したい部分の先頭部分①にセットし、はさみの形をした[スプリット]ボタン②をクリックします。
- ② タイムラインカーソルをクリップの削除したい部分の最後の部分③にセットし、[スプリット]ボタン②をクリックします。
- ③ クリップの削除する部分④をクリックし、続いてキーボードの Delete] キーを押します。

- ④ カットされた部分は黒い空白になるので、マウスポインターを合わせると表示される[ゴミ箱]アイコンをクリックします。これで、黒い空白部分が削除されて右側部分が左に寄せられます。なお、[ゴミ箱]アイコンをクリックする代わりに、カットされて残った右側の部分をドラッグして左に寄せることもできます。

(3) 1本の動画にまとめる

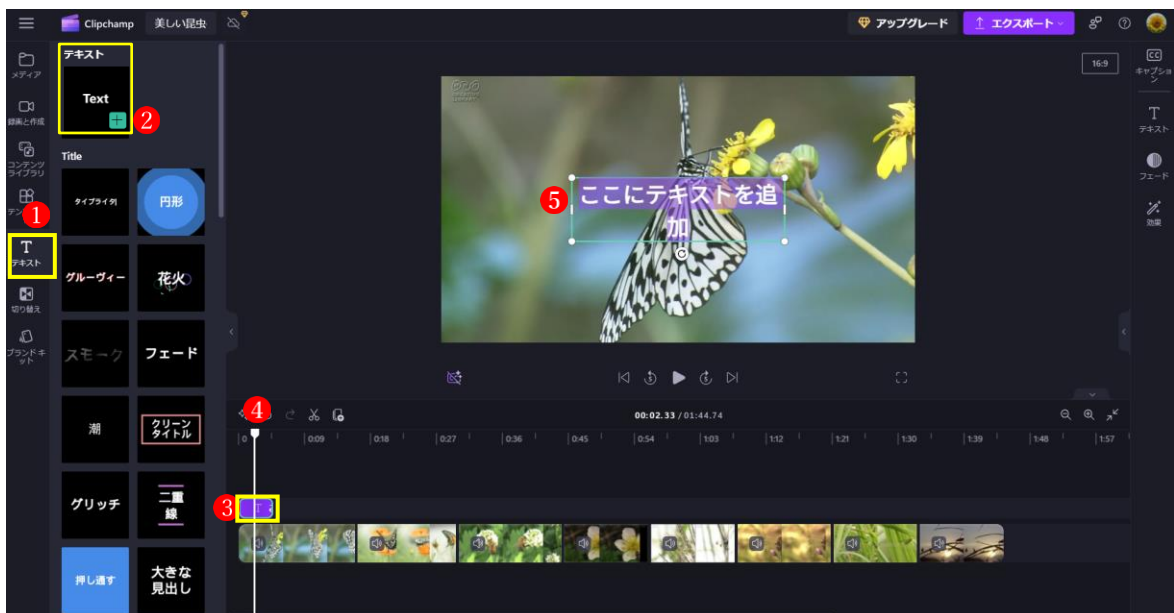
残っている動画のクリップをタイムラインにコピーし、上記の方法により各クリップの不要な部分をカットします。最後に、再生する順番にクリップを並び変えます。

5 編集作業その2 (クリップにテロップを入れる)

クリップにテロップ (テキスト) を付けると見やすい動画になります。また、テロップの文字にはいろいろな効果を付けることができます。

(1) クリップにテロップを入れる

クリップにテロップを入れる方法は、次のとおりです。



- ① ツールバーの[テキスト]ボタン①をクリックします。
- ② オプションの[テキスト]にマウスポインターを合わせると+ボタン②が現れるので、このボタンをクリックします。
- ③ タイムラインに[テキストクリップ]③が挿入されます。
★[テキストクリップ]は、ドラッグしてタイムラインの好きな場所に貼り付けることもできます。
- ④ [タイムラインカーソル]④をテキストクリップの上に移動し、テキストクリップをクリックすると、プレビュー画面に[プレースホルダー]⑤が表示されます。
- ⑤ [プレースホルダー]⑤文字をダブルクリックすると、プレースホルダーの背景が紫色に変化し、文字が入力できる状態になります。

- ⑥ [ここにテキストを追加します]の文字を削除し、テロップにしたい文字を入力します⑥。



- ⑦ 文字がプレースホルダーからあふれる場合は、プレースホルダーのハンドル⑦を操作して1列にし、次に、プレースホルダーをドラッグして、画面の下側に移動させます⑧。



(2) テロップ文字の編集

テロップ文字は、デフォルトでは[白色]でサイズ[30 ポイント]になっていますが、テキストのオプションを使って各種の変更修正を行うことができます。

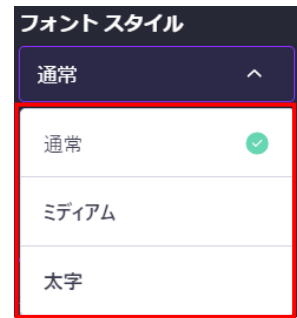
テロップ文字の変更修正の方法は、次のとおりです。



- ① プレースホルダーをクリックして選択状態にしておき、ツールバーの[テキスト]ボタン①をクリックすると、ツールバーの左側に各種[オプション]が表示されます。
- ② オプションの[テキスト]②で[すべて選択]をクリックすると、テキストの背景が紫色になり、文字を自由に変更できるようになります。
- ③ [フォント]③は、現時点では対応しておらず、デフォルト以外の変更はできません。

- ④ [フォントスタイル]④では、[通常]・[ミディアム]・[太字]の中から選択することができます。

(※ここでは、デフォルトの[通常]にします。)



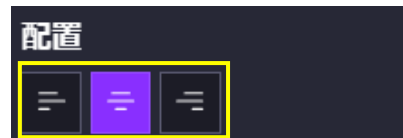
- ⑤ [フォントサイズ]⑤では、サイズ欄に直接数値を入力するか、下にあるスライダーを使って変更することができます。

(※ここでは、デフォルトの[30]ポイントのままにします。)



- ⑥ [配置]⑥では、[左揃え]・[中央揃え]・[右揃え]の中から選択することができます。

(※ここでは、デフォルトの[中央揃え]のままにします。)



- ⑦ [スタイル]⑦では、[太字]・[斜字]の中から選択することができます。

(※ここでは、どれも設定しません。)



- ⑧ [色]⑧では、Aをクリックすると、24種類の色Bの選択ができ、それぞれの色について5段階の明度C変更もできます。また、Dの+ボタンをクリックすると、カラーパレットEが開き、自由に好きな色を作成して使うことができます。

(※ここでは、デフォルトの[白]のままにします。)



- ⑨ [アウトライン]⑨では、機能をオンにすると、文字に色の輪郭をつけることができます。

(※ここでは、デフォルトの[オフ]のままにします。)

- ⑩ [シャドウ]⑩では、機能をオンにすると、文字に色のついた影をつけることができます。

(※ここでは、デフォルトの[オフ]のままにします。)



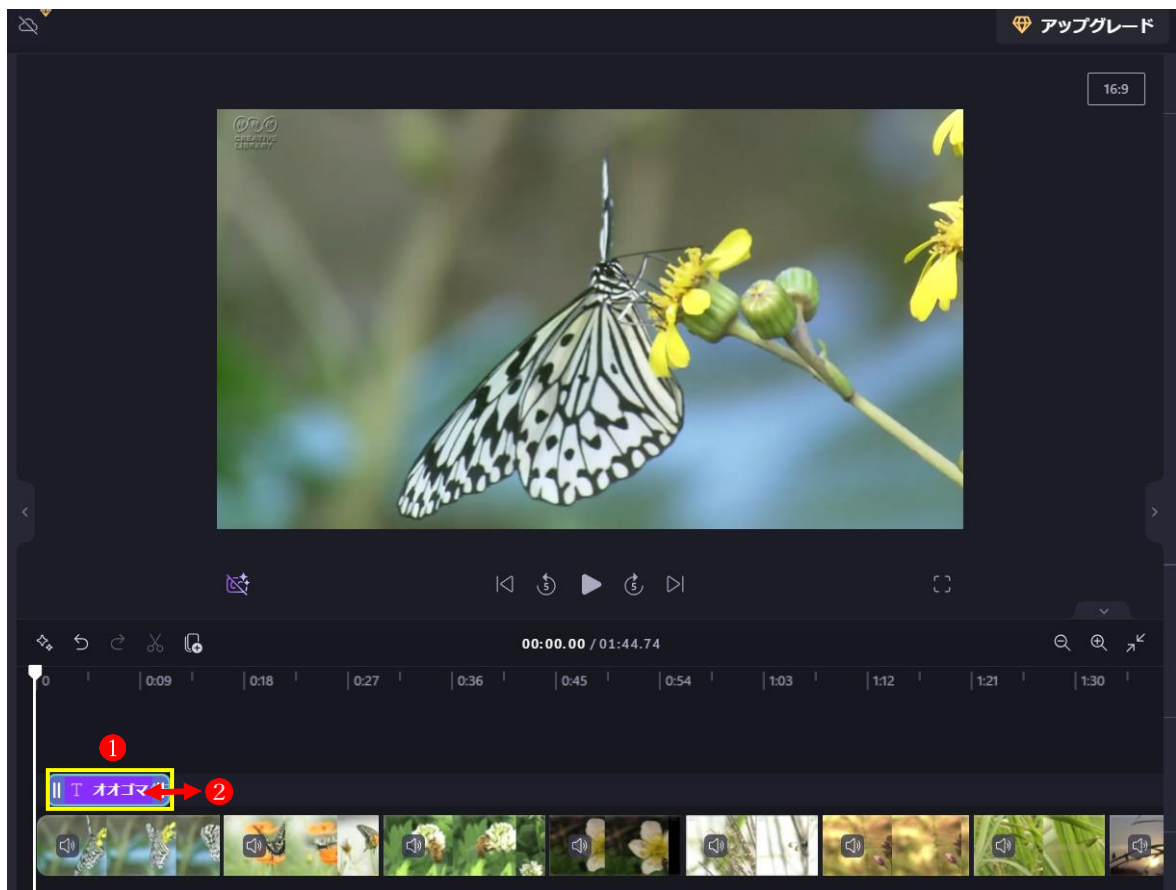
- ⑪ [位置]⑪では、テキストを画面のどの位置に配置するかを選択することができます。

(※ここでは、[下段中央]に配置します。)

- ⑫ [回転]⑫では、テキストを右回りまたは左回りに90度回転させることができます。(※ここでは、使用しません。)



(3) テロップの開始位置と長さ



- ① テロップは、タイムラインの動画クリップの上に配置します。テキストクリップ①をドラッグして、テロップの表示を開始したい位置に配置します。

- ② テロップを表示する時間は、テキストクリップの右端を左右にドラッグ②することにより調整することができます。

(4) すべての動画クリップにテロップをつける

テキストクリップは、先に作成したクリップをコピーして使うと効率的です。

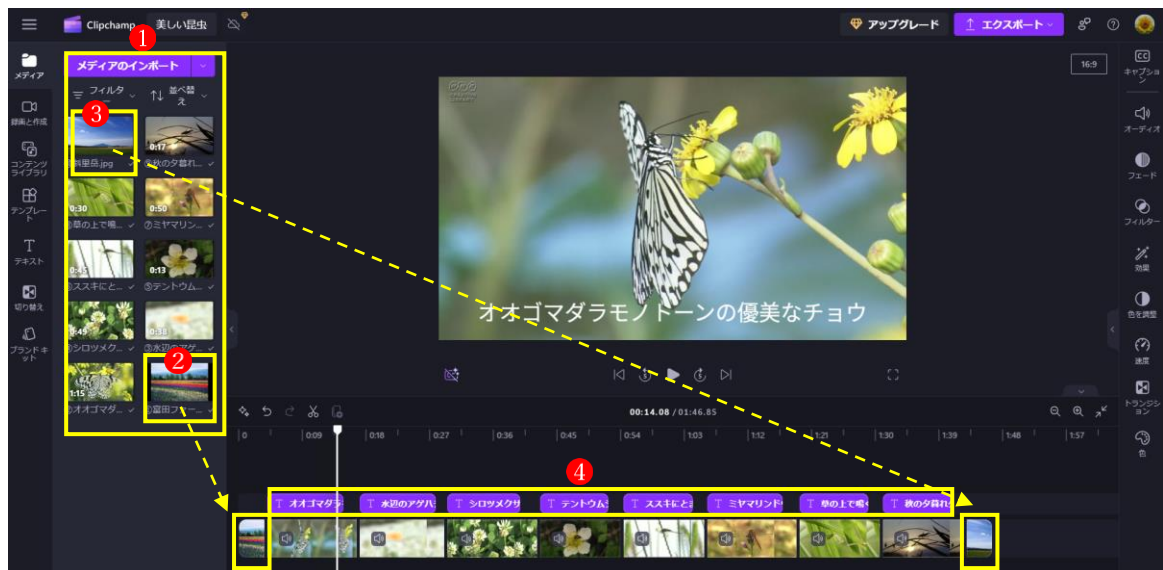
- ① コピー元のテキストクリップ①を選択します。
- ② [複製]ボタン②をクリックします。
- ③ テキストクリップの複製③が作成されます。
- ④ 次のクリップのテロップ開始位置までドラッグ④します。
- ⑤ テキスト文字を変更します。



6 編集作業その3 (動画にタイトル画像を挿入する)

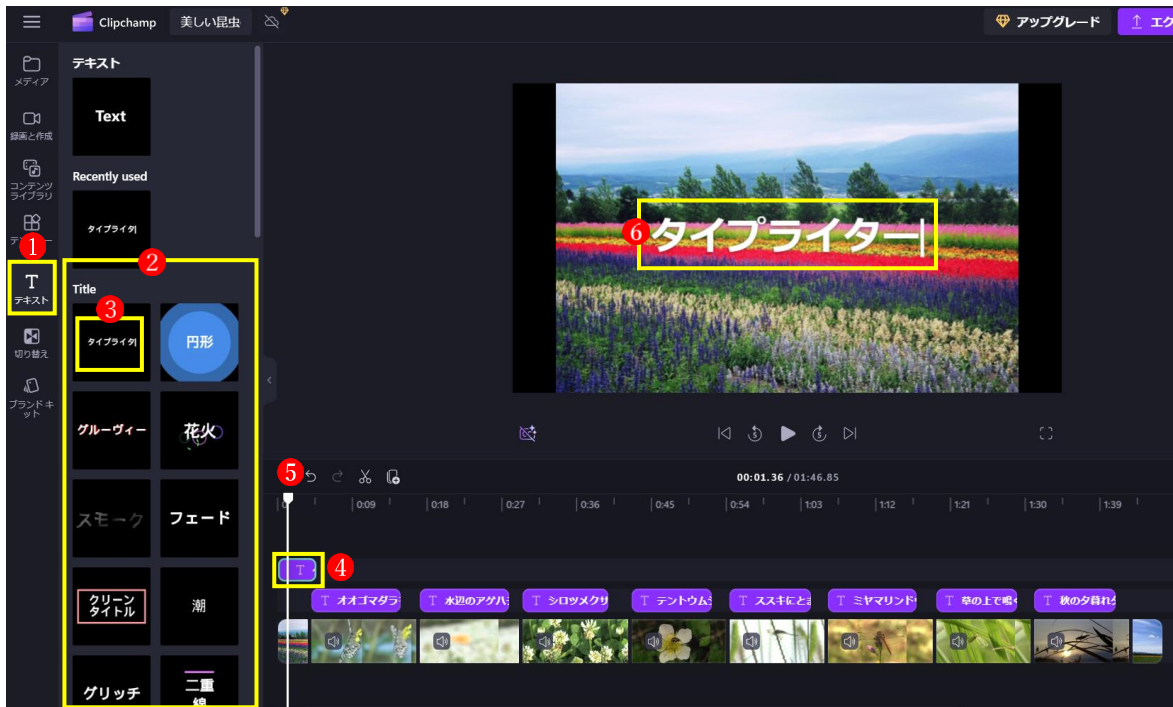
動画の先頭にタイトルを挿入します。また、動画の最後にはエンドロールを挿入します。

(1) タイトルの背景に使う画像 (写真) をタイムラインにコピーする



- ① [メディアライブラリー]①から、動画のタイトルに使う画像 (写真)②とエンドロールに使う画像 (写真)③をドラッグしてタイムラインにコピーします。
(※タイムラインにコピーされた画像が表示される (時間) は、デフォルトで4秒間に設定されています。画像の最後の部分を左右にドラッグすることにより時間の長さを調整することができますが、ここでは少し長めの6秒程度にします。)
- ② 新たに画像をタイムラインにコピーすると、その分だけテキストクリップが動画クリップの位置からズレるので、それぞれ位置を調整します④。

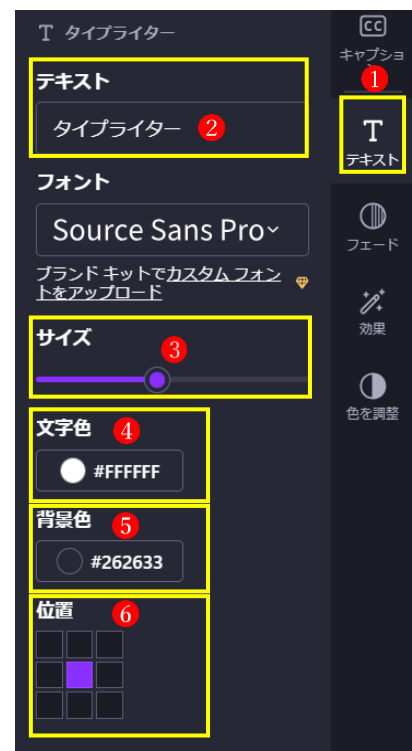
(2) 先頭の画像にタイトルを付ける



- ① ツールバーの[テキスト] ①をクリックすると、[Title]の一覧②が表示されます。
- ② テンプレートの中からタイトルに使いたいものを選択します。
(※ここでは、[タイプライター] ③を選択します。)
- ③ タイムラインに[タイプライター]のテキストクリップ④が追加されます。
- ④ タイムラインカーソルをテキストクリップの上に合わせると⑤、プレビュー画面に[タイプライター]という文字の入ったプレースホルダー⑥が表示されます。

(3) タイトルを編集する

- ① タイトルの編集は、ツールバーの[テキスト] ①をクリックして表示されるオプションで行います。
- ② [テキスト] ②のボックス内でタイトルを変更します。
(※ここでは、タイトルを[美しい昆虫の世界]にします。)
- ③ [サイズ] ③で、スライダーを使ってテキストのサイズを適宜の大きさに変更します。
- ④ [文字色] ④で、文字の色を変更できます。
(※ここでは、文字色を[黄色]にします。)
- ⑤ [背景色] ⑤で、文字の背景の色を変更できます。
(※ここでは、デフォルトの[透明]のままにします。)
- ⑥ [位置] ⑥で、タイトルを配置する位置を設定できます。
(※ここでは、デフォルトの[中央]にします。)



(4) タイトルにフェードの効果をつける

- ① ツールバーの[フェード] ①をクリックします。
- ② テキストが徐々に現れる[フェードイン]効果②を付けることができます。
(※ここでは、[1秒]に設定します。)
- ③ テキストが徐々に消えていく[フェードアウト]効果③を付けることができます。
(※ここでは、[1秒]に設定します。)



(5) タイトルにその他の効果をつける

- ① ツールバーの[効果] ①をクリックすると、26種類の効果テンプレートが表示されます。テンプレートの上にマウスポインターを合わせると、実際の効果がプレビュー画面で確認できます。
- ② 26種類の効果の中から好きなものを選択してクリックします。
(※ここでは、[カラーシフト] ②を設定します。)
- ③ 効果は複数のテンプレートを組み合わせて設定することが可能です。設定した効果をやめたい場合は、当該テンプレートを再度クリックします。また、複数設定した効果を一度に解除したい場合は、一覧の最初にある[なし] ③をクリックします。



(6) エンドロールを作成する

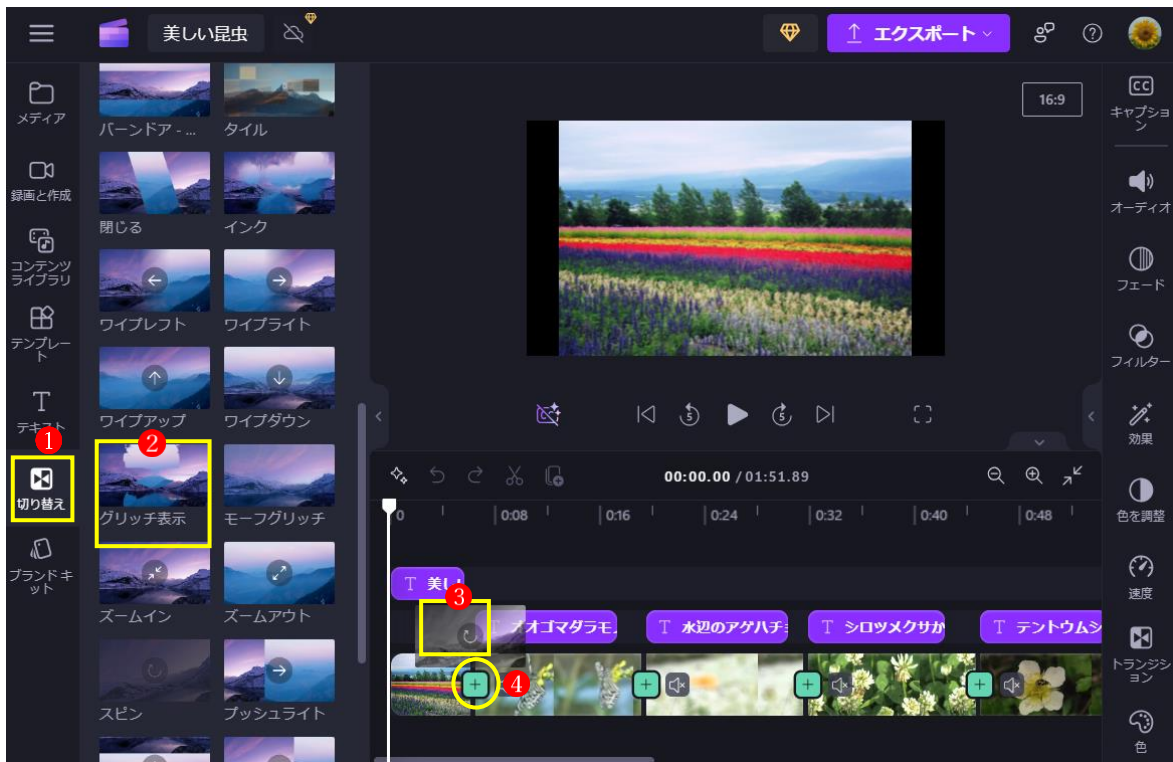
上記のタイトルの編集作業に準じてエンドロールを作成します。

- (※エンドロールのテキスト、サイズ、色、フェード、効果などを適宜設定します。)

7 編集作業その4（動画に切替効果を付ける）

編集作業では動画をつないでいきますが、クリップとクリップのつなぎ目に切り替えの特殊効果を付けると、プロっぽい作品にすることができます。このつなぎ目に付ける特殊効果のことを[トランジション]といい、また、特殊効果のことを[エフェクト]といいます。

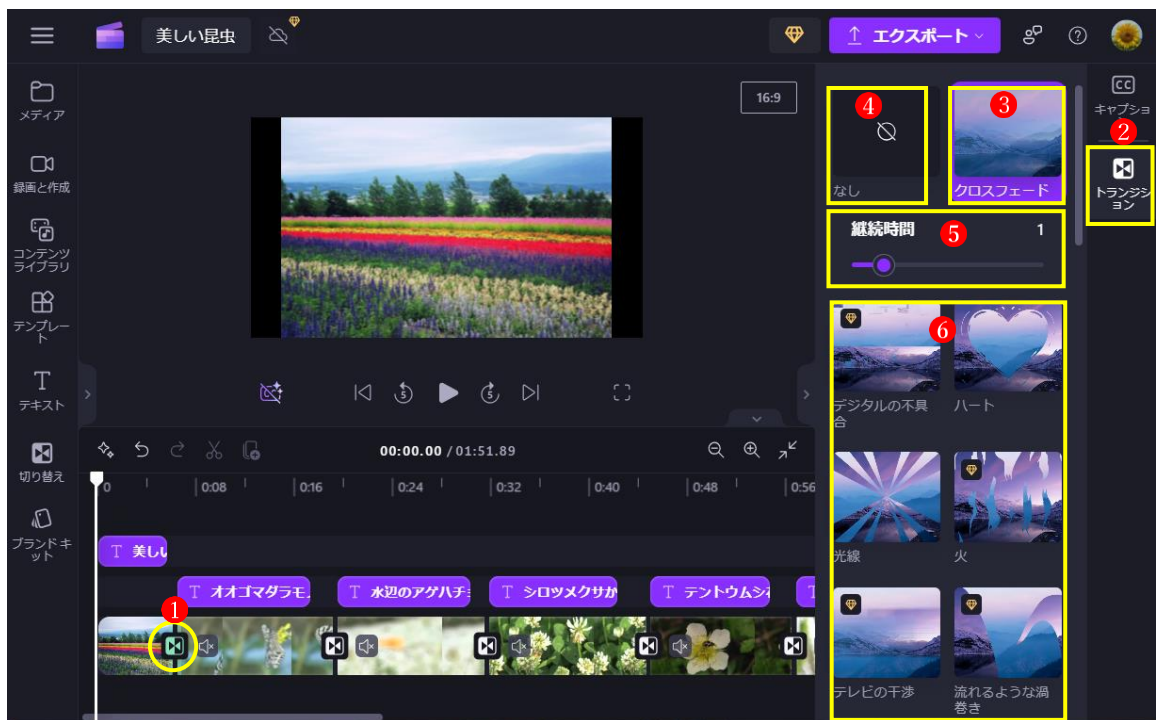
(1) 動画と動画の間にトランジション（切替効果）を付ける



- ① 左側のツールバーにある[切り替え]ボタン①をクリックします。
- ② 一覧から好きなトランジション（※ここでは[グリッチ表示]②を選択）を選んで、トランジションを挿入したい動画と動画のつなぎ目にドラッグしていきます③。
★動画と動画の間に隙間があるとトランジションを付けられないので、あらかじめ隙間がないように動画を並べておきます。また、最初のクリップの前と最後のクリップの後ろにはトランジションは付けられないので、覚えておきましょう。
- ③ 目的のつなぎ目のところに[+]のマーク④が現れたらその上でトランジションをドロップします。[+]のマークが[+]に変わります。これで、動画と動画のつなぎ目にトランジションが付けられたことが分かります。なお、プレビューで再生して確認しておきましょう。
なお、そのトランジションが気に入らなかった場合は、別のトランジションを[+]のマークの上にドラッグ&ドロップすれば、自動的に更新されます。
- ④ 他の動画と動画のつなぎ目にも同様にしてトランジションを付けます。
★動画のつなぎ目ごとにトランジションの種類を変えると、見る側は落ち着かない気分になるので、なるべく同じトランジションで通す方がよいでしょう。

(2) トランジションの変更と継続時間の調整

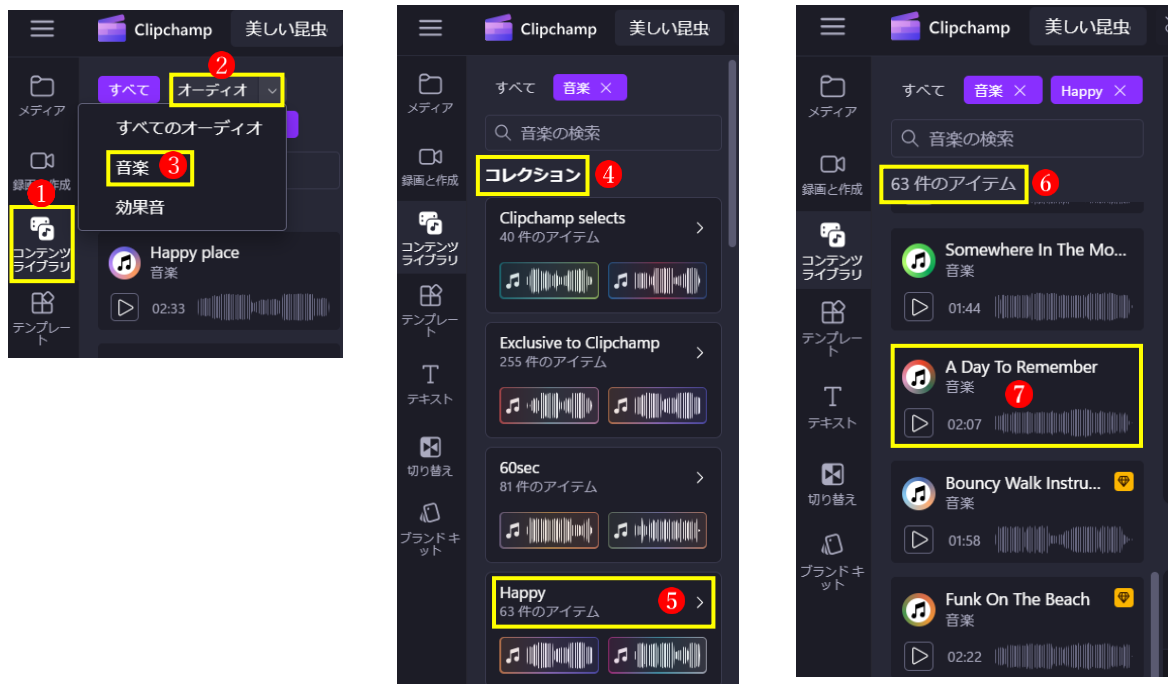
トランジションは、デフォルトでは効果を表示する時間が1秒になっていますが、その長さを調整することができます。



- ① 編集したいトランジションのマーク①を選択します。
- ② 右側のツールバーの[トランジション]②をクリックします。
- ③ オプションの上部に、今適用されているトランジションの種類③が表示されています。
- ④ その下に[継続時間]⑤が表示されているので、紫色のスライダーを左右にスライドしてトランジションの表示時間を調整することができます。
- ⑤ 適用されているトランジションを無効にするには[なし]④をクリックします。
- ⑥ 表示されているトランジションの一覧⑥から、適用するものを変更することもできます。

8 編集作業その5（動画に音楽を付ける）

動画に音楽や効果音を付けることもできます。



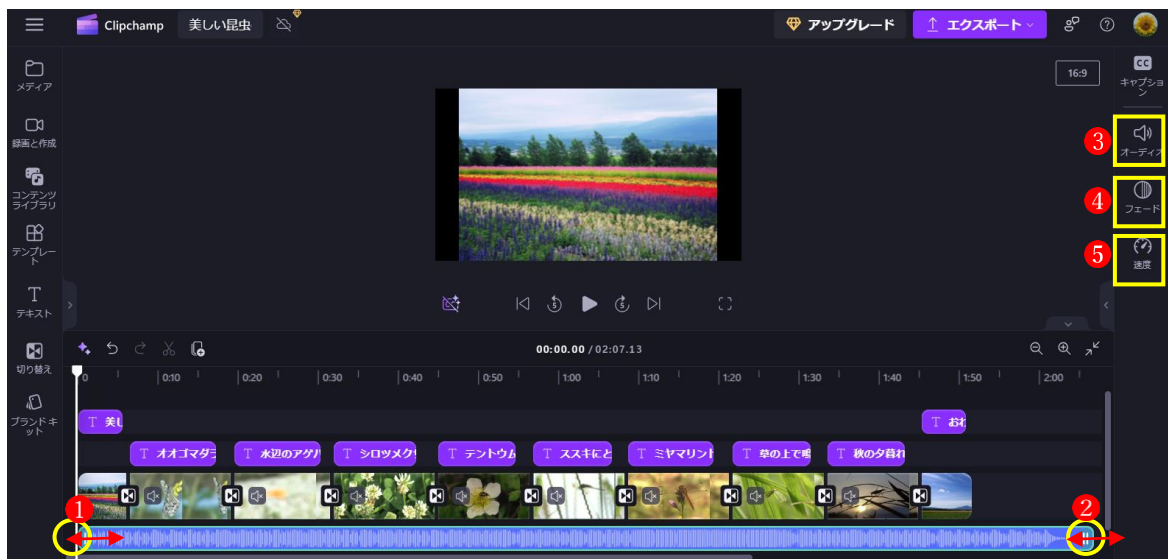
(1) 音楽を選択してタイムラインに挿入する

- ① 左側のツールバーから[コンテンツライブラリー]ボタン①をクリックします。
- ② [オーディオ]②をクリックします。
- ③ [音楽]③をクリックします。
- ④ 音楽の[コレクション]④の一覧が表示されます。
- ④ [コレクション]の中から1つ（※ここでは[Happy]⑤）を選択します。
- ⑤ アイテム（※ここでは63件のアイテム）⑥が表示されるので、その中から編集中の動画に合いそうなアイテムを探してクリックします。
（※ここでは、[A Day To Remember]⑦を選択します。）
- ⑥ 選択したサンプル音楽⑧が再生されはじめ、継続時間や種類（有料か無料か）などの情報⑨が一緒に表示されます。
- ⑦ このサンプル音楽を使う場合は、[+タイムラインに追加]⑩をクリックします。
- ⑧ サンプル音楽がタイムラインに挿入されます。

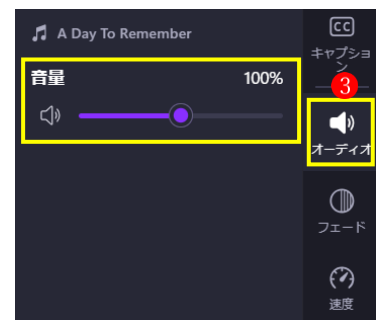


(2) 挿入した音楽を編集する

挿入した音楽は、動画に合わせて長さを調整します。また、音量やフェードの設定、再生速度の変更ができます。



- ① タイムラインに挿入された音楽の最初①と最後②の部分をドラッグして音楽を再生する時間の長さを調整します。
- ② ツールバーの[オーディオ]③をクリックして音量を調整します。(※ここでは[100%]のままにします)



- ③ ツールバーの[フェード]④をクリックして、フェードイン、フェードアウトの設定を行います。(※ここでは、フェードインを1秒、フェードアウトを2秒にします。)

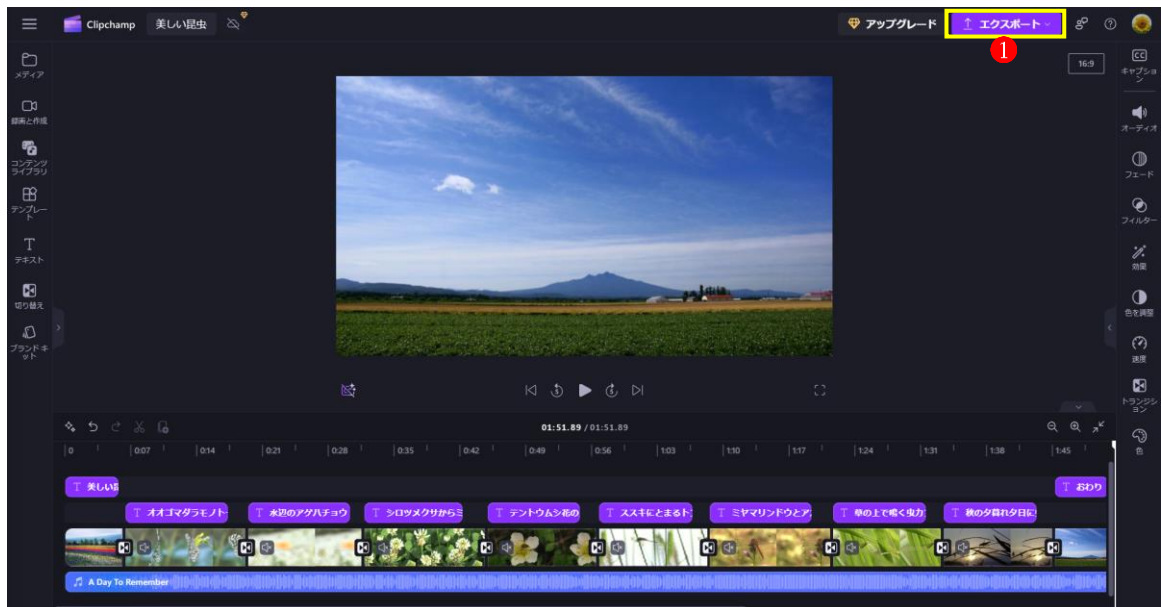


- ④ ツールバーの[速度]⑤をクリックして、再生速度の設定を行います。(※ここでは、1Xのままにします。)



9 エクスポートする

プロジェクトからエクスポートして動画を作成します。



(1) エクスポートする

① [エクスポート]ボタン①をクリックします。

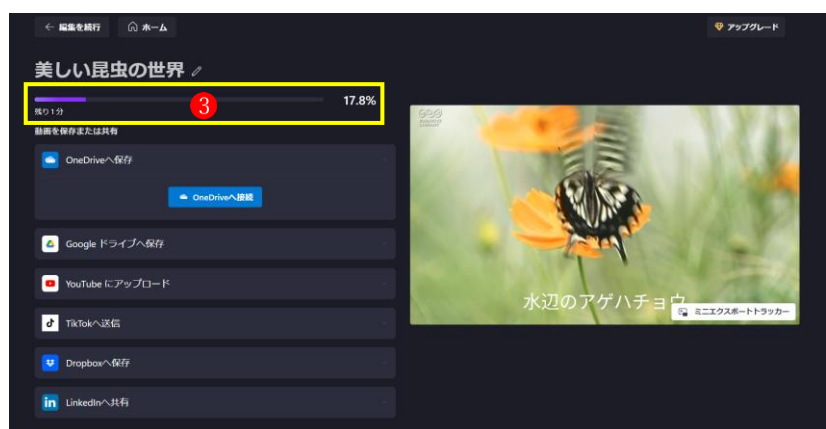
② 画質を選択します。

YouTube に投稿する場合は、[1080 p] を選択します。高画質でなくてもよいのであれば、[720p]や[480 p]でもよいでしょう。

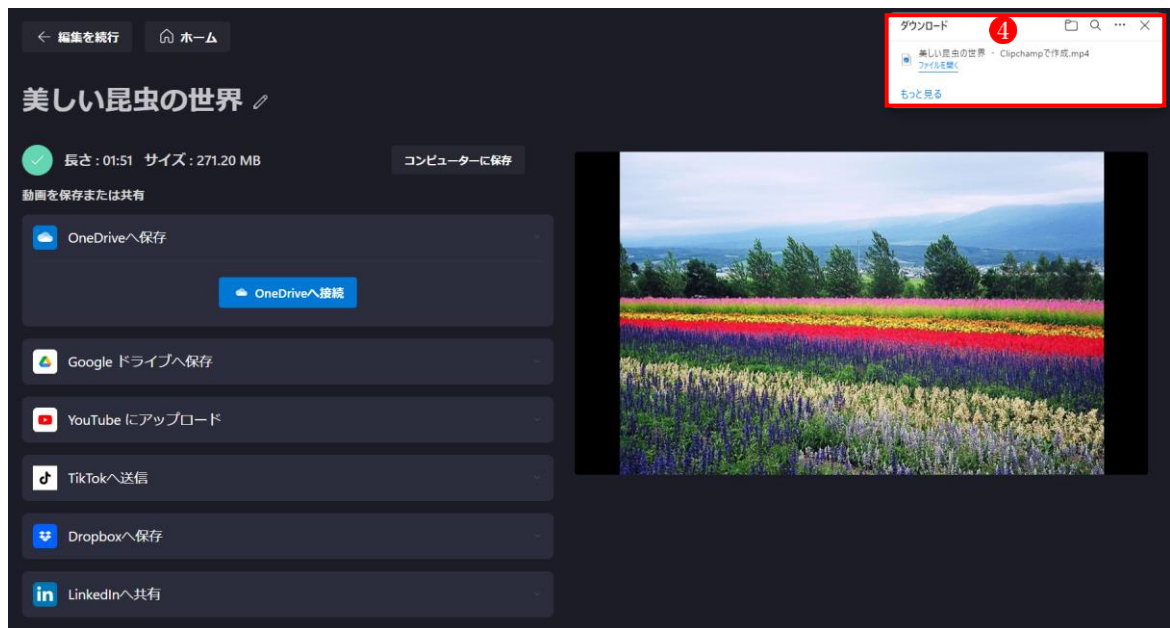
(※ここでは、[1080 p]②にします。)



③ 画質を選択してクリックすると、エクスポート処理③が始まります。



- ④ 作成された動画は、[ダウンロード]フォルダー④に保存されます。



- ⑤ エクスポートされて[ダウンロード]フォルダーに保存されている動画ファイル (※ここでは、[美しい昆虫の世界 - Clipchamp で作成.mp4]④)をダブルクリックすると、作成された動画⑤が再生されます。

